

研究機関名：旭川医科大学

|              |  |
|--------------|--|
| 承認番号         | 19177  |
| 課題名          | 乳癌患者におけるヒトテロメラーゼ逆転写酵素の細胞内局在と関連分子マーカーの臨床病理学的意義  |
| 研究期間         | 倫理委員会承認日 ～ 2023年 3月 31日  |
| 研究の対象        | 2016年1月1日 ～ 2020年4月30日に当院で乳がんの手術を受けられた方  |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：診療録、手術記録、病理診断報告書 から、性別、手術時年齢、病理学的診断内容、薬剤の治療歴を含めた患者情報を抽出する）<br><input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織<br>（対象臓器等名：乳腺組織から作られたパラフィンブロック）<br><input type="checkbox"/> 血液<br><input type="checkbox"/> その他（ ）  |
| 研究の意義、目的     | <p>ヒトの体細胞は細胞分裂のたびに染色体の端にあるテロメアという部分が短くなります。分裂が繰り返され一定長より短くなるとテロメアは増殖を止め、細胞老化という状態になります。がん細胞では通常テロメラーゼと呼ばれるテロメア逆転写酵素が活性化しており、この酵素の働きによってテロメアの伸長が起こり、細胞の不死化、がん細胞の永続的な増殖に重要な役割を担っていると言われています。私たちは乳がん組織における hTERT（ヒトテロメラーゼ逆転写酵素）の細胞内発現に着目し、乳がんのサブタイプ（ルミナルタイプ、HER2 タイプ、トリプルネガティブタイプ）別に免疫組織化学的な解析（免疫染色）を試みます。また hTERT と関連性が示唆されるいくつかの分子マーカーを選択し、免疫組織化学的解析および臨床病理学的要因などと併せて解析します。</p> <p>この研究では、hTERT の細胞内局在と関連分子マーカーの臨床病理学的な意義を研究することで、治療効果の判定などに期待がかかります。</p> |
| 研究の方法        | <p>研究対象の期間内に乳がんの手術を受けられた 500 名程度の方を研究対象とし、後ろ向きに事例検討をします。</p> <p>手術にて摘出された組織の病理診断結果を参照し、hTERT およびいくつかの関連分子マーカーについて、免疫染色という特殊な染色を実施し解析を行います。その際には、一部診療録、手術記録を閲覧する場合があります。氏名、病院診療録 I D などの個人情報と分離して匿名化を行います。診療録、病理診断報告書から抜粋した調査項目は、試料・情報等の保管期間終了後に紙媒体の研究資料はシュレッダー処理を行って廃棄、電子データは完全に消去します。</p>   |
| その他          |  |
| お問い合わせ先      | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p>  |

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 病理部 臨床検査技師 鵜野裕治（研究責任者）

〒078-8510

旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電話 0166-69-3392